

ヒアリング項目	平成30年度 上半期調査	平成30年度 下半期調査
三重県内の景気動向	<p>《A行》 雇用、所得環境の改善が続く中、引き続き景気回復が期待される。一方、法人企業においては、海外経済の不確実性から、手元資金の余剰感が高いこともあり、新たな資金を調達するより、内部資金を利用する傾向がある。</p> <p>《B行》 雇用は全体的に高水準を維持し、個人消費も回復傾向。企業においては、設備投資が北勢地区では活発であるが、南勢地区においては動きが弱い。</p> <p>《C行》 住宅の着工数が増加。特に北勢地区が目立っている。自動車販売数も増加しており、個人消費の回復傾向がみられる。</p>	<p>《A行》 個人消費が上向きつつあり、県内の景気は緩やかな回復傾向にある。県内製造業が下支えし、景気は底堅く推移する見通し。</p> <p>《B行》 上半期同様、雇用は全体的に高水準を維持し、個人消費も回復傾向みられたが、住宅建築は足踏みしている。公共事業においては横ばいに推移。</p> <p>《C行》 下半期は、中南勢地区において、住宅の着工件数が増加傾向にあるように感じられる。</p>
管内の景気動向	<p>《A行》 国内景気は好調を維持しているが、当管内においては、小規模零細事業者が多く、波及効果はあまり感じられない。</p> <p>《B行》 昨年横ばいで推移しているものの、下請企業が多く、大手発注元の動向に注意が必要な状況である。</p> <p>《C行》 特段変化なく思える。太陽光パネルの設置が当管内において目立っているように思える。</p>	<p>《A行》 上半期同様、当管内では、景気好調の波及効果はあまり感じられない。</p> <p>《B行》 上半期同様、商業・小売りは横ばいで推移している。建築関連では、秋口の台風の影響で工事自体が後倒ししている。</p> <p>《C行》 小規模事業・個人事業が多く景気回復傾向にあるとは感じられない。同地区内では、依然太陽光パネル設置が多いように感じられる。</p>
融資姿勢	<p>《A行》 事業性評価を基に、担保・保証に過度に依存しない融資取組に傾注している。</p> <p>《B行》 小口案件を含め、需要には積極的対応方針。事業性評価を重視し、担保・保証人に拠らない融資取組を心掛けている。</p> <p>《C行》 純新規融資獲得にシフトしている。既存先への良い融資機会にもアンテナをはっており、行内連携を密にし、情報共有を心掛けている。</p>	<p>《A行》 上半期同様、事業性評価を基に融資判断を実行する。</p> <p>《B行》 上半期同様、資金需要に対しては、積極的対応方針。事業性評価を基に融資判断を実行する。</p> <p>《C行》 資金ニーズがあれば対応方針である。</p>
管内の設備資金の需要動向	<p>《A行》 介護施設、太陽光発電などの設備資金需要も一巡し、大型案件は少ない。一方で農業事業者の規模拡大に伴う設備投資がみられる。</p> <p>《B行》 設備投資ニーズはあるが、業種による偏りが見受けられる。全体的には、景気の先行きに不透明感があり、手控えている状況。</p> <p>《C行》 消費税増税前の駆け込み需要の影響か、太陽光に関する資金が増加傾向。</p>	<p>《A行》 大型案件は少ないが、一部で補助金等を活用しての省電力化の設備投資がみられた。</p> <p>《B行》 フランチャイズ展開にかかる設備需要、向上増設等の設備需要に対しては、積極的に対応する方針。</p> <p>《C行》 上半期同様、消費税増税前の駆け込み需要の影響か、太陽光発電設備設置の需要もある。また、個人向け住宅ローンの需要も拡大。</p>

ヒアリング項目	平成30年度 上半期調査	平成30年度 下半期調査
管内の運転資金の需要動向	<p>《A行》 運転資金については、事業者の手元資金の余剰感が強く、新規の資金需要は少ない。</p> <p>《B行》 受注状況が安定しており、自己資金で対応する傾向が強い。</p> <p>《C行》 メイン行にて事足りているためか、鈍化している印象である。</p>	<p>《A行》 上半期同様、運転資金については、事業者の手元資金の余剰感が強く、新規の需要は少ない。</p> <p>《B行》 資金繰り改善に必要な資金導入や、工事代金引受資金の需要がみられた。</p> <p>《C行》 運転資金の需要は少ない。</p>
好調な業界・注目業界	<p>《A行》 当管内では、土木建設業者が比較的受注は好調。また、北勢や県外に展開・進出している企業や、規模拡大を図っているアグリ関連企業など注目している。</p> <p>《B行》 特定業種は無いが、同業界内での差異、格差は広がっている。</p> <p>《C行》 住宅関連企業は、消費税増税に備えてか、駆け込み需要が増加すると考えられる。住宅メーカーおよび関連メーカー連携工場等に注目している。</p>	<p>《A行》 上半期同様、建設・不動産業界や、生産規模の拡大を図っているアグリ関連企業に注目している。</p> <p>《B行》 上半期同様、特定業種は無い。</p> <p>《C行》 建設・不動産は好調</p>
不振警戒している業界	<p>《A行》 不動産関連。また、人材難から介護関連事業所等。</p> <p>《B行》 コンビニ業界の競争激化。また、人手不足が深刻化しており、どの業界も人材確保に苦慮している。</p> <p>《C行》 建設業関連について、同管内公共工事が減少する可能性があるように思える。業界の資金源となる公共工事が同管内にて増加すればと考えている。</p>	<p>《A行》 上半期同様の理由から介護事業関連。また、売電価格の低下の影響で資金繰りが悪化している太陽光発電関連も警戒している。</p> <p>《B行》 人手不足が深刻化、運送業（ドライバー）、建設業（現場作業員）の人手不足が顕著。</p> <p>《C行》 回答無し</p>
創業等の資金需要	<p>《A行》 新規創業に関する資金需要はあまり見られなかった。</p> <p>《B行》 新規創業者は多くなく、あっても自己資金範囲内での創業。</p> <p>《C行》 他行の状況は分からないが、当行は少ない印象である。</p>	<p>《A行》 上半期と同様に低調、ほぼ無いに等しい。</p> <p>《B行》 飲食業の開業が比較的多い。資金調達については、低レートである政府系金融機関を利用するケースが多い。</p> <p>《C行》 上半期同様、相談件数は少ない印象である。</p>
新規事業進出	<p>《A行》 一部で事業多角化や新業態への進出などによる需要がみられた。</p> <p>《B行》 あまり新規事業進出は多くはなく、あっても自己資金範囲内での進出</p> <p>《C行》 他行の状況は分からないが、当行は少ない印象。</p>	<p>《A行》 上半期同様、一部で事業多角化や新業態への進出などによる需要がみられた。</p> <p>《B行》 創業資金同様、政府系金融機関を利用するケースが多い。</p> <p>《C行》 上半期同様、相談件数は少ない印象。</p>

ヒアリング項目	平成30年度 上半期調査	平成30年度 下半期調査
事業継承に関する情報	≪A行≫ 後継者不在によるM&A等の相談が寄せられている。 ≪B行≫ 高齢のオーナーを中心に、当行独自の事業承継診断を積極的に実施している。 ≪C行≫ 相談件数は無いが、事業承継に必要な取引先はうかがえる。	≪A行≫ 上半期同様、後継者不在と人材不足による相談が寄せられている。 ≪B行≫ 後継者問題については、各企業様々であり、企業実態に応じて適切な方法を検討していく必要がある。 ≪C行≫ 当行において、相談件数は少ない。
金融機関の統合や環境変化に伴う融資姿勢の変化	≪A行≫ 管内においては、金融機関の統合後も、競争環境や融資姿勢において変化は無いと思われる。 ≪B行≫ 統合については特に目立った動きは無く、融資については政府系金融機関とのレート競合。 ≪C行≫ 当行の取組状況からは、今後変化がありそうな印象である。融資額のバーが下がりそうな印象であるが、融資姿勢は変化ないと考えられる。	≪A行≫ 上半期同様、姿勢に変化はない。 ≪B行≫ 上半期同様、政府系金融機関とのレート競合。また、近隣を地盤とする地銀、信金について、合併期限に向けた実務作業の本格化がみられている。 ≪C行≫ 地域密着とする取組方針に変化は無い。
商工会支援先に対する支援姿勢	≪A行≫ 商工会支援先については、特に連携して積極的に取組んでいきたい。 ≪B行≫ 小規模事業資金を中心に、ニーズ発掘、資金支援を緊密に連携して行って行きたい方針。連携強化情報共有をすすめて地域企業の経営改善支援を充実させたい。 ≪C行≫ できることは全力で、できないことはできません。当行のスローガンに則り、可能な限り支援する方針。	≪A行≫ 上半期同様、連携して積極的に取組んでいきたい。 ≪B行≫ 融資だけでなく、各種ビジネスマッチング、ソリューション等の広い範囲での支援が必要と考える。 ≪C行≫ 上半期同様、可能な限り支援する方針。
商工会への要望	≪A行≫ 連携強化、情報交換を積極的に行い、地域事業者との関係構築に協力願いたい。 ≪B行≫ 融資だけでなく、本業支援する施策について互いに協力し、地域系税の活性化に努めていければと考える。 ≪C行≫ 今後とも友好的なお付き合いを希望する。	≪A行≫ 上半期同様、地域事業者の支援において、協調、連携強化をお願いしたい。 ≪B行≫ 課題の掘り出しから解決方法について、常日頃からコミュニケーションをしっかりととりながら、ともに進めていくことが重要。 ≪C行≫ 情報交換、相互間での支援案件共有等、協力していきたい。